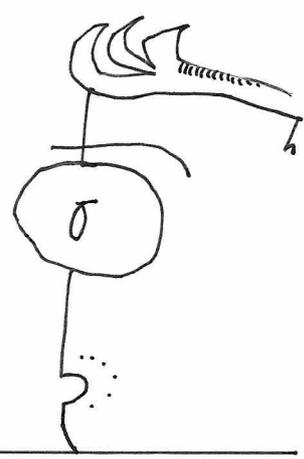
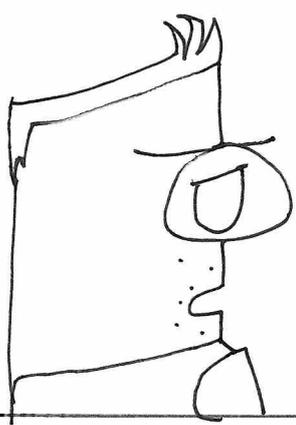


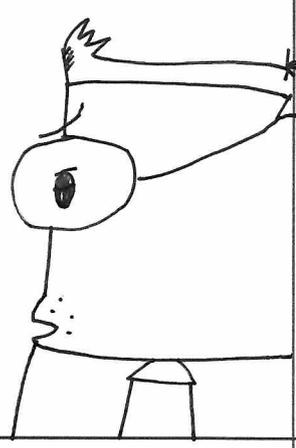
自分にとって、すべ
この治療は、自分
とは何かを知る
てたてとなる。今は

自分の本質を知る
ために人を治す。

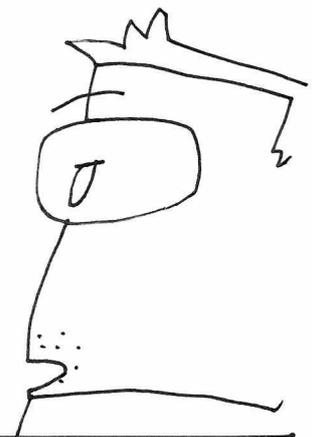
といってもいい。



医師になりたての
ころとはちがう。
なりたてのころは
治療と技術ぎじゅつに重
点をおいていた。

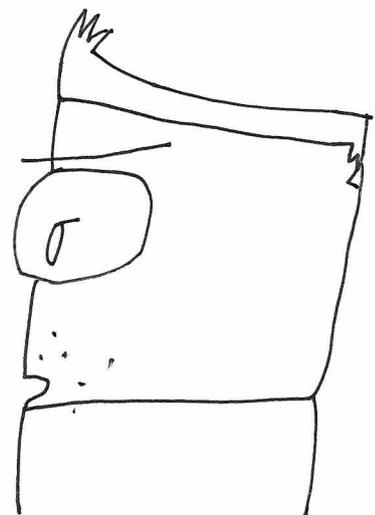
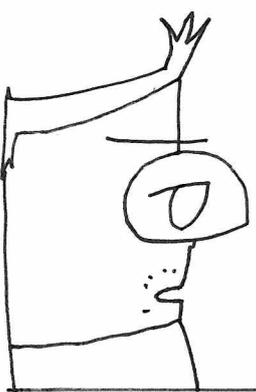


もちろん、今でも現代
医学も使う。
漢方も針灸もつかう。
でも、でも本当にやり
たいことはそれとはちが
う。



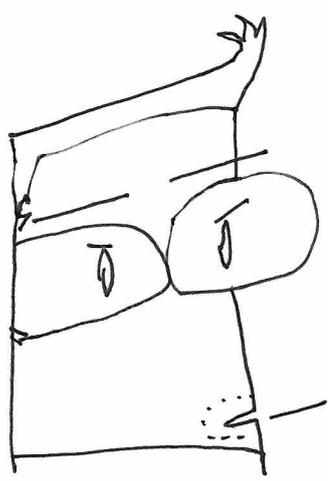
人の意識と呼吸
する色や形・光
音もつかう。電気
磁気もつかうが、これ
でもない。

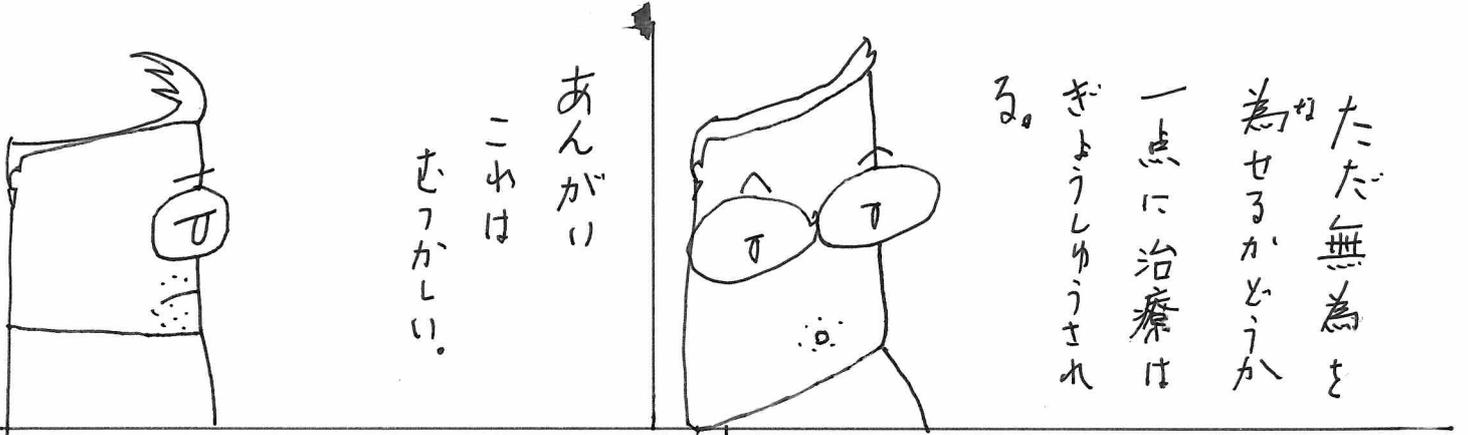
●
今の治療は
無為を目標と
する。



何も変えようとしな
いで、人が勝手に
治ることを目標とす。

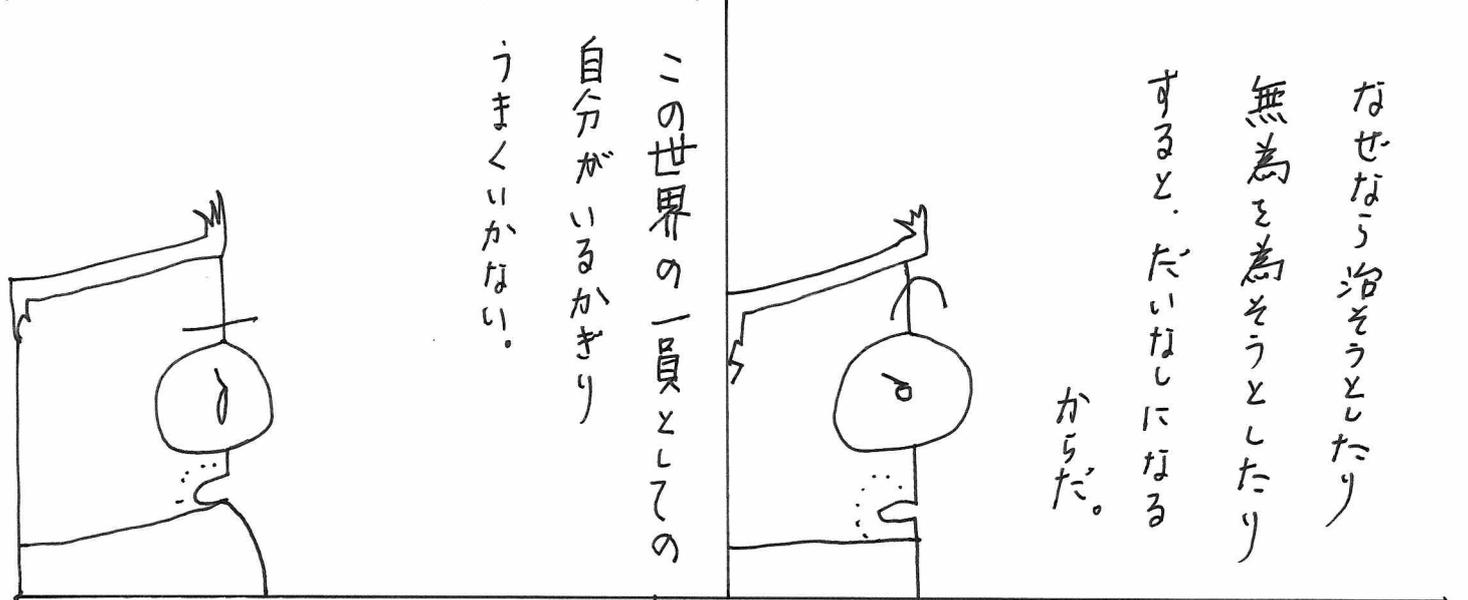
無為を為すことが
今の目標となっている。
それで人が治るかどう
かは目標ではない。!!





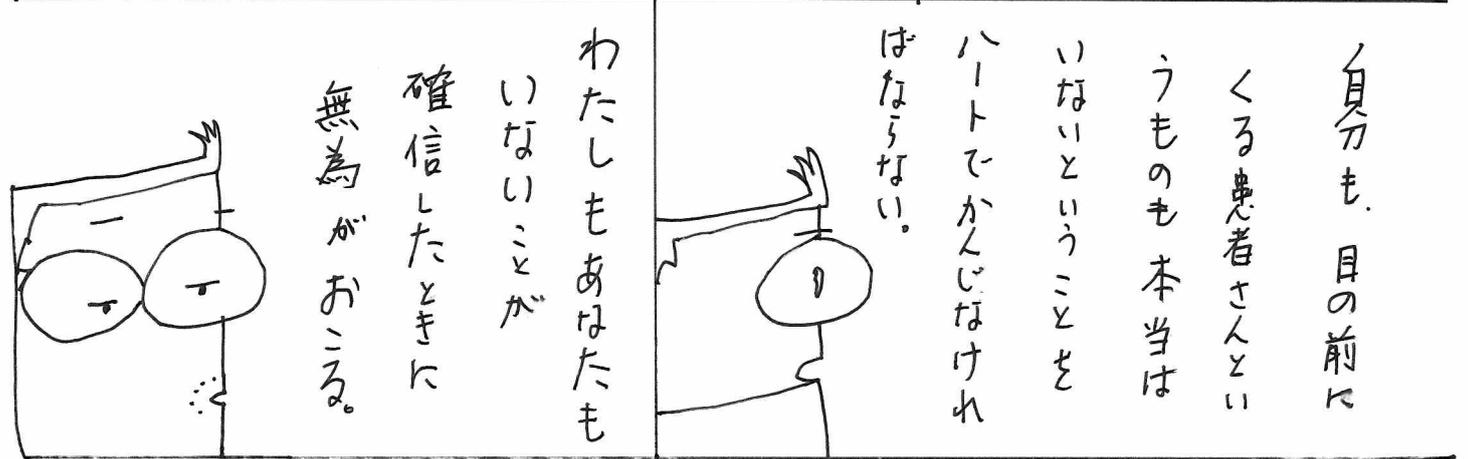
ただ「無為」を
 為せるかどうか
 一点に治療は
 ぎょうしゅうされ
 る。

あんがり
 こゆは
 むづかしい。



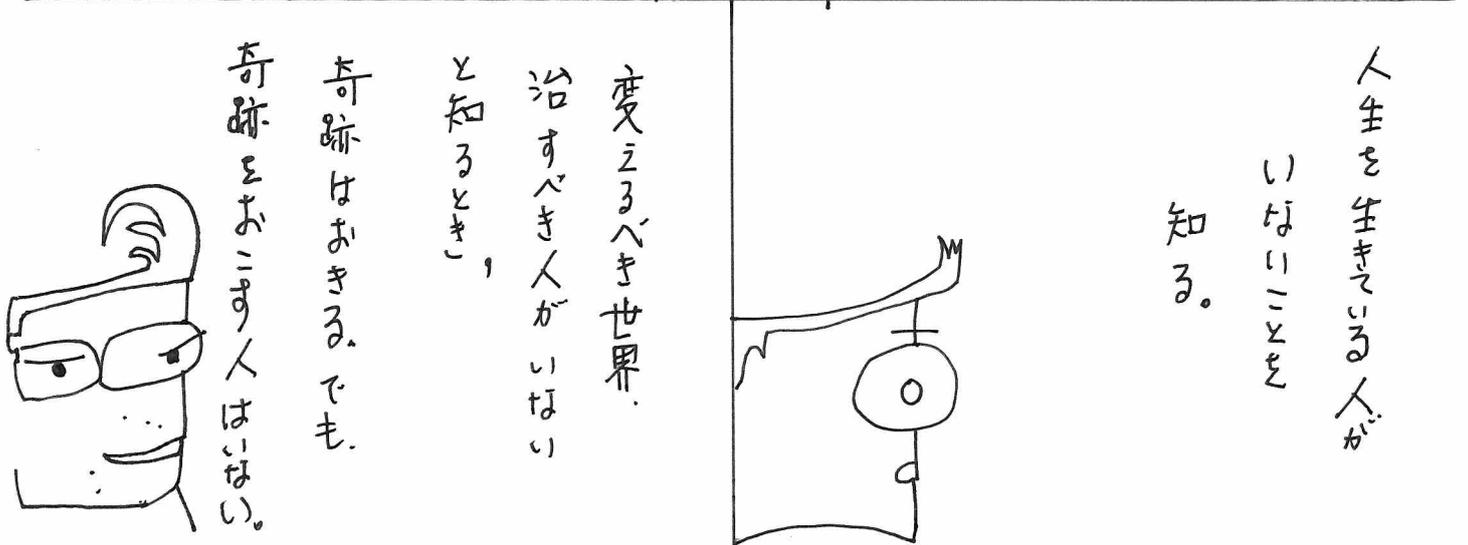
なせなう治そうとしたリ
 無為を為そうとしたリ
 すると、だいなしになる
 からだ。

この世界の一員としての
 自分がいるかぎり
 うまくいかない。



自分も、目の前に
 くる患者さんとい
 うものも本当は
 いないということ
 ハートでかんじなけれ
 ばならない。

わたしもあなたも
 いないことが
 確信したとき
 無為がおこる。



人生を生きている人が
 いないことを
 知る。

変えるべき世界、
 治すべき人がいない
 と知るとき、

奇跡はおきる。でも、
 奇跡とおく人はいない。